

第13回 定時総会(平成17年度予算総会)開催

統合後初となる第13回定時総会が3月29日都議会議事堂第2会議室で開催されました。本総会は次年度の事業計画と予算を年度が始まる前に承認いただくもので、これまでの新東設事協メンバーにとっては目新しい方法でした。

総会は尾島理事の司会により、議長に明野会長を選出し審議に入りました。開会に際し議長である明野会長が、正会員24社、委任状45社、計69社で、会員総数118社の総会開催定足数59社以上で総会が成立することを報告しました。その後、総会資料にある平成17年度の「協会活動の重点目標」について、西専務理事から説明されました。審議に入り、まず阿部理事により「平成17年度事業計画」の提案説明が行われ、続いて、「平成17年度収支予算」についての報告を堀竹理事が行い審議に入りました。質疑では予算案の参加費などの金額内訳についての確認がありましたが、今後再検討をすることとして、1、2号議案とも無事承認されました。

第2部の恒例の「トピック学習会」では明野会長が建築設備技術者の資格問題について、その歴史的背景および今後の展望について講演しました。会員の諸氏も真剣に耳を傾ける大変興味深い内容でした。

第3部の交流会は会場を議事堂1階「百兆」に移して、望月理事の司会により明野会長の挨拶で開会されました。続いて当協会の結成や活動に大変なお力添えを頂いている小山都議会議員のご挨拶を頂いた後、野上理事の乾杯の発声で祝宴はスタートしました。会の途中(社)公共建築協会 時田常務理事より海外の建築事情についての報告に、新たな話題とともに懇談の輪ができました。時の経つのを忘れる内に定刻になり、堀竹副会長の中締めで三々五々散会となりました。

委員会の報告

2月18日に発行しました「協会だより統合記念号」以降の各委員会では、担当理事・委員長・部会長により今後の活動方針等の審議が行われました。各委員会につきましては、随時開催し活動が実施に移される段階となっています。本日まで活動が報告された委員会では次のような活動・審議・報告を行いました。

<企画委員会>

1. 新年度の事業と予算調整

<業務環境改善委員会>

1. 新年度の事業について

<環境・技術委員会>

1. 新年度の事業と今後の活動について

<公益・事業委員会>

1. 新年度の活動について

2. ONAシステム展について

<広報・情報委員会>

1. 広報活動報告と今後の活動について
 2. 協会だより第1号の掲載内容について
 3. 協会統合記念誌発刊について
- #### <建築電気設備雷保護委員会>
1. 講習会の検討

●平成17年度の協会活動重点目標●

第13回定時総会において標記の協会活動に対する重点目標が掲げられました。設備設計の専門の公益団体である当協会は、会員の業務環境改善への取り組みとして、会員からの要請を伝達する渉外活動、法的資格の多角的検討、関連団体との情報交換・協調活動などを行うとしています。二つめはクライアントと都民に信頼されるため、技術力の充実と公正の確保に努めることとして、技術力と周辺知識の向上、ならびに業務遂行における透明性の確保に心掛けることを挙げました。残りの一つは、設備設計関係情報発信基地として、役立つ情報を会員、関係団体、都民に向け発信すること、(社)日設事協の活動が充実するよう支援するなどとしています。

●明野会長「建築設備士の資格」について講演●

明野会長は定時総会のトピック学習会で、建築設備技術者の資格に対する社会的認知への歴史と建築設備士が作られるまでの経過と背景について、先人たちがいかに努力したかについて講演しました。現在、建築設備に従事している人達でも、空衛学会の設備士がいつ作られ、建築設備士の資格がどのように認知されたかを正確に答えられる人は少ないと思われます。その経緯を知る人は設備設計の草分けとして設計事務所を開設された先輩諸兄に限られています。この度の講演で大変貴重な歴史を伺うことができました。なお、この設備技術者の資格問題は、明野会長が今後シリーズとして展開する意向です。今後の講演がますます楽しみで期待されます。

●「公共工事の品質確保の促進に関する法律(品確法)」スタート●

本年4月1日より、標記の品確法が関係者の攻防の末、それぞれの思惑をのせスタートしました。公共工事の品質確保においては、その品質が受注者の技術的能力に負うことが大きいことから、談合その

他の不正行為の排除することと適格性を有しない建設業者が排除されること等、入札及び契約の適正化を図らなければならないとしています。この達成に向け、国、地方公共団体および発注者はその責務を有することを明確にし、各省各庁の長、特定法人等の長に必要な措置を講ずることを求めました。また、発注者に対しては仕様書及び設計書の作成、予定価格の作成、入札及び契約の方法の選択、契約の相手方の決定、工事監督及び検査並びに施工上の評価その他事務を適切に実施しなければならないとして、公共工事の契約に際しては技術提案を求め、競争参加者の技術的能力の審査を厳しく求めています。

●JIA、工事監理で「設計者監理」を国交省に要望●

日本建築家協会(JIA)は「第三者監理方式の課題と対応策」をまとめ、国土交通省官舎官舎部(建設部)に要望を提出しました。現在行われている第三者監理では工事請負者に設計意図がうまく伝わらない問題点が指摘され続けていたため、工事監理を「設計者監理」と「第三者監理」の二つに明確に分離し、第三者監理は工事の品質監理にほぼ限定することとしています。一方、設計者監理の業務内容では「施工図をすべて検討・確認する」ことを加え、設計者でなければ確認できない「施工図が設計意図を正しく反映しているかどうか」という確認業務を明確に位置付けました。また、これに伴い設計責任が発生することも明らかにしています。

●士会連合会と設備技術者協、設備技術におけるレベル同等を確認●

日本建築士連合会と建築設備士技術者協会は、それぞれが運用している「専攻建築士制度(環境設備分野)」と「JAMBEE SENIOR」が同レベルの技術力を明示するものとして、合意書を交わしました。また、設備分野の分類では「空調設備(空調)」、「給排水設備(衛生)」、「電気設備(電気)」の三つとすることと、

そのすべての限定表示も可能なことも確認しました。合意ではSENIOR資格を持つ建築士が環境設備専攻建築士として登録申請する場合は専攻領域別実務履歴や実績の提示の代わりにとすることができることとし、環境設備専攻建築士の資格を持つ建築設備士が設備技術協の「建築設備総合講習」を受講すればSENIOR資格を与えることも合意しました。

●MET・2005アースデイ記念事業のお知らせ●

4月22日はアースデイ。国際的な環境記念日であることをご存知ですか？

これまでの(社)東設協の時代から、毎年、独自の記念事業を企画・開催して参りました。本年は国の天然記念物に指定されている三宝寺沼沢植物群で有名な石神井公園の自然と生物を観察しながら散策を楽しむ会です。

日時 4月23日(土)10:00~12:00
小雨決行

集合 石神井公園ボート乗り場前9:50

詳しくはホームページ<http://www.met.gr.jp>をご覧ください。

●平成17年建築設備士試験のスケジュールご案内●

私たちの業務に最も関係のある建築設備士のスケジュールが下記のとおり発表になりました。資格取得に向け一層の努力を期待します。

試験日	試験の区分	試験時間	出題区分
6月26日(日)	第一次試験	学科	10:00 } 建築一般知識、 13:00 建築法規
			14:10 } 建築設備 17:10
8月28日(日)	第二次試験	設計製図	11:00 建築設備基本計画、 16:30 建築設備基本設計製図

詳しくは(財)建築技術教育普及センターホームページ<http://www.jaiec.jp/>をご覧ください。

●オープン・フィールド・ネットワークセミナー実施報告●

3月30日、公益・事業委員会では東京コンファレンスセンター(東京・品川)において、日本国内のBA業界、FA業界などで多く採用されている主要なフィールド・ネットワークについてのセミナーが開催されました。

IT化がますます進展する中でBA業界、FA業界などのフィールド・ネットワークについて解説するセミナーは日本においては初となることから、119名の大勢の参加者がありました。また、78%の方が有意義であったと意見が寄せられています。

●設備設計研修会(商業ビル編)実施報告●

3月23日~25日の3日間、恒例の設備設計研修会(商業ビル編)がけんぼプラザ3Fで開催されました。受講者数は下記の通りです。

3月23日:9名、24日:13名、25日:8名

●環境技術セミナー実施報告●

2月25日、環境技術セミナーがけんぼプラザ3Fで開催されました。テーマは「資産価値を高めるリニューアルの動機と最新事例」で39名の方が参加しました。

●新規加入会員のご紹介●

	社名	業種
正会員	(有)イオス設備工房	電気、照明デザイン
正会員	(株)トノムラ設計事務所	空調、衛生
正会員	(株)エムツーフューチャー	衛生
個人会員	浅野 春夫 様	—

新ホームページがスタートしました

統合から2ヶ月が経過し、このたびホームページが新しくなりました。これまでの(社)東設協と新東設事協のそれぞれの特色を継承しながら、更にグレードアップした内容となりました。是非、協会ホームページ<http://www.met.gr.jp>にアクセスして、新たな内容をご確認ください。